

会派視察報告 日本共産党

十月十五日～十七日の三日間、岡山県の三市の視察を行いました。

備前市では県立青少年教育センターを訪問。一六七〇年に設立された日本でもっとも古い庶民の学校「閑谷学校」を活用した青少年の教育センターでは、年間四万人もの青少年が研修を行っているとのこと。国宝に指定されている講堂を使つての「論語教育」、参加者は、友愛・秩序・礼儀を学んで帰るそうです。日本人が忘れてしまった心を取り戻す教育がそこには根付いていました。黒光りする講堂に背筋を伸ばして「孔子」の教えに聞き入る子どもたちの瞳が輝いていて大変感動させられました。

十七日は、岡山市で地方自治体研究全国集會に参加。全国の自治体の様々な取り組み、特に合併が進むなか、山郷の暮らしを守るうと、観光や新しい名産品作りに励んでいる小さな山村の村長さんの話に励まされました。十八日は、同集會の分科会で倉敷市を訪問。江戸時代天領であつた町衆文化のまち、倉敷の伝統的建造物を保存するために、ボランティアで頑張つておられる人々の優しい心意気に、おおいに学ばされました。

あつた町衆文化のまち、倉敷の伝統的建造物を保存するために、ボランティアで頑張つておられる人々の優しい心意気に、おおいに学ばされました。



閑谷学校を視察

会派視察報告

近未来21

「議会報告会について(名取市議会)」しるいしエコプロジェクトについて」十一月三日～五日に会派行政視察を行った。春日市議会基本条例は、本会派が栗山町を視察し、研究して議案提案を行い審査の結果、平成二十一年三月に制定されたものである。第十条(広報機能の充実)の具現化のため議会活動の広報と

して、十一月十八日予定の第一回春日市議会報告会を前に先進的取組みとして視察した。名取市議会での議会報告会の経緯、実施状況、課題、成果、市民の反応等についての忌憚ない話は、前もつての情報収集として参考になった。議会は税金の使い方及び市民生活に関わる内容を議決する重要な機関なので議会活動の広報に努めるべきという思いを一層強くした。次に白石市のエコプロジェクトでは、平成十四年から省エネ活動を開始しすべての課や公共機関についてエネルギー使用量の目標値を定め、削減に徹底した取組みを行っていた。生ごみ資源化事業所



名取市で議会報告会の説明を受ける

市議会報告会を 開催しました

十一月十八日午後七時から、ふれあい文化センターサンホールにおいて、全議員で初めての市議会報告会を行いました。

報告会では議会の役割やしくみや、議会基本条例の制定の経緯や目的を説明し、各常任委員長が九月定例会の審査結果等を報告しました。

後半には会場にお越しの皆さんと議会に関する意見交換を行い、九州新幹線開通に併せて博多駅周辺を活用して春日市の発展に繋がられないものかとのご意見や、男女共同参画推進への取り組みについてのご質問をいただきました。

皆さんからの貴重なご意見等は、今後の議会活動に活用させていただきます。

今回は、六十七名の方に参加していただき、アンケートでは「専門用語が多い」「活発な討論が見られなかった」「PR不足で参加者が少ない」など厳しいご意見もありましたが、約八割の方から「また参加したい」との感想をいただきました。

今回は、皆さんのご意見を参考に、議会をもっと身近に感じただけのような、充実した報告会を行います。

より多くの方のご参加をお待ちしております。

春日市議会

